

プロに学ぶ スマホ撮影の極意



写真③



写真①



写真②

露出補正無しの写真は
空が青すぎる印象

本誌の編集を任されて早や数年。取材では、自分で撮影をすることも多いのですが、「もっとすてきな写真が撮りたい」と、カメラ教室へ行ってきました。講師は、東京・多摩でカメラやスマホ撮影の個人教室を主宰する**佐々木綾子**さん。ちょうど桜が満開の時期だったため、桜をモデルにスマホ（Phone）撮影のコツを教えていただきました。

まずは桜の淡い色をきれいに撮影するため、画面をタップしてピントを合わせたら、カメラの「土マーク（露出メーター）で、光を取り込む量（露出）を上げ、明るく写るよう調整。先生のアドバイス通り、超広角レンズにして青空と桜の木を数本撮影してみると、木がカーブした印象的な写真になりました（写真①）。私のiPhoneの機種は、広角レンズと超広角レンズの2種類のレンズが付いているので、自分が実際に見ている風景より広く写るのですが、これを活かした構図にするとすてきな写真になるそうです。

次は桜の花に接近して撮影。木の幹の色が暗いので、花とのコントラストを出すため、今度は露出を少し下げます。背景はカメラが自動でぼかしてくれて、まるで一眼カメラで撮ったような仕上がりに（写真②）。めしべやおしべまではっきり写っています。

ちなみに、屋外で花や植物を接写するときは、太陽光に左右されない曇りの日がおすすだそうです。

このほか、スマホを逆さまにして木の幹を見上げるように撮ったり、花びらを真上から俯瞰で写したりするなど、様々な撮影方法を教えていただきました。最後は、「枝は対角線上に配置」、「メインで写したものは画面の三分の2程度に収める」などのアドバイスを受け、垂れ下がった桜と丘の下の住宅街を撮影（写真③）。我ながら上出来です！

「写真はセンス」とよく言われますが、講師の佐々木さん曰く「センスよりも技術を知り、コツを掴めば誰でもすてきな写真が撮れますよ」とのこと。確かに、今回いくつかのテクニックを教えていただいただけで、見違えるような写真になりました。あとは練習あるのみ！

皆さんもスマホを片手に、お出かけと撮影を楽しんでみてくださいね。

■個人指導パソコンとカメラの教室コンプルサポート

東京都多摩市関戸4-23-1 関戸ビル5F

レッスンは専用フォームよりメールにて（女性限定・完全予約制）。詳細はHP (<https://com-p.com/>) をご覧ください。